

！算数科の原理原則！

原則1=混合計算の解き方

- 1) () を先にする。
- 2) ×と÷がその次。
- 3) 次に+と-。
- 4) 左より順にする。

■それでは、上の原則に従って、早速、練習問題に挑戦してみましょう。

<1>次の計算をしてみましょう。

2	2
---	---

$$\textcircled{1} 5 + 4 - 6 \quad \textcircled{2} 10 - \underline{2 \times 4} \quad \textcircled{3} 2 + \underline{4 \div 2} - \underline{1 \times 2}$$

$$= \qquad = \qquad =$$

$$\textcircled{4} 3 \times (9 - 4 \times 2) + 4 - 2 \quad \textcircled{5} 4 \times 5 + 6 \div 3$$

$$= 3 \times \boxed{} + 4 - 2 \quad =$$

$$=$$

●できましたか。途中に、斜線 (—) をいれて、計算をしていくと、いいですね。④のように順番に正しく計算を書いていく場合には、=はそろえましょう。

■では、整数以外に、分数をいれて練習をしてみましょう。

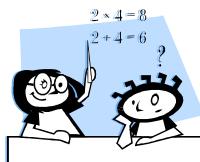
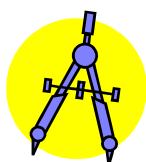
<2>次の計算をしてみましょう。

$$\textcircled{1} \textcircled{1} 50 - 20 \div \frac{4}{3} \quad \textcircled{2} 8 \times \left(\frac{1}{4} + \frac{1}{3} \right) \quad \textcircled{3} 8 \div \left(1 - \frac{1}{3} \right)$$

$$= 50 - \qquad = 8 \times \qquad =$$

$$= \qquad = \qquad =$$

●ここだけでは、練習が少ないのでしょうから、問題集とか、授業で使ったドリルなどで、もう一度復習するといいですね。分数の計算では、答えの際に約分することを忘れないように！



5
9 ÷ 1
2.719372
10784.36